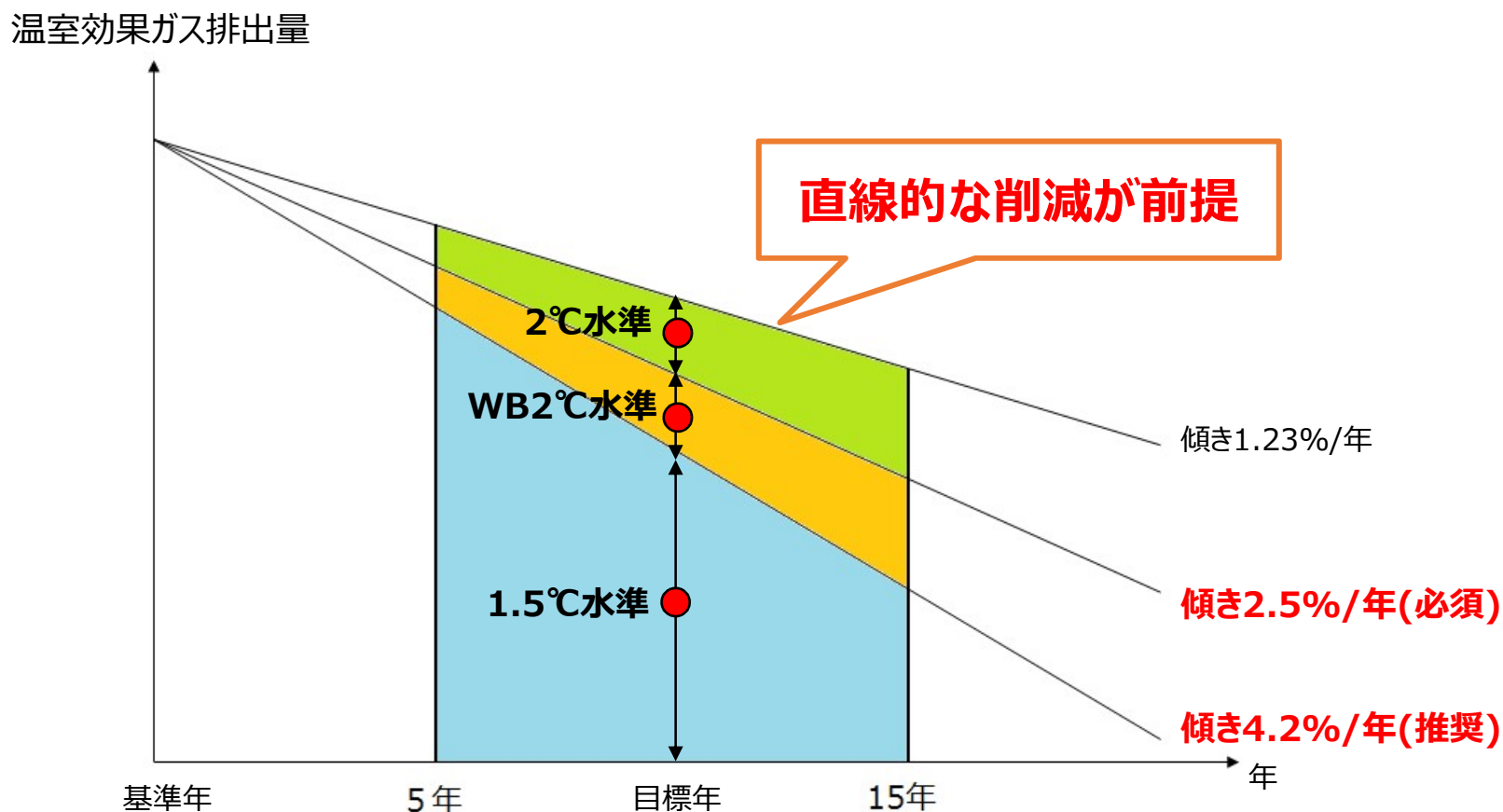

8. SBTの設定手法

- Scope1,2のSBT設定手法として、原則「**総量削減**」、「**SDA**」の2手法を推奨している

| 手法 | 概要 | 基準 | 認定水準 |
|---|---|-----|------------------------|
| 総量削減 Absolute Emissions Contraction | <ul style="list-style-type: none"> • (当初の排出量実績に関係なく) 全企業が排出総量を同じ割合で削減する手法。 • 目標の設定と進捗状況の把握が容易で分かり易い手法。 • 多くのセクターに応用が可能 (ただし、使用が推奨されないセクターもある)。 | 総量 | WB2℃ / 1.5℃ |
| SDA Sectoral Decarbonization Approach | <ul style="list-style-type: none"> • IEAが定めた<u>セクター別の原単位</u>の改善経路に沿って削減する手法 • SDAを利用可能なセクターは下記のとおり。 | 原単位 | WB2℃ (IEA B2DSシナリオ) |

手法その1 総量削減 (Absolute Emission Contraction)

- ◆ 全企業が排出総量を同じ割合で削減する手法。
- ◆ 基準年から毎年同量を削減していく想定で、現在から5～15年後の目標を設定。



- ◆ 総量削減アプローチは、全企業が排出総量を同じ割合で削減するものであるが、当然、部門・業種・業態によって、排出の実態やこれまでの削減取組の進捗も異なる。
- ◆ このため、SBTではいくつかの部門について、**2050年の、何らかの活動量当たりの原単位の低減水準を設定**し、その部門に該当する企業は、その原単位まで下げるという目標を設定するアプローチも用意している。

⇒ **Sectoral Decarbonization Approach (SDA)**

※具体的な2050年の部門ごとの原単位目標は、IEAが実施した最適化計算による原単位予測をベースにして、SBT事務局にて設定している。

- ◆ SDAの設定ではSBT事務局が公開している計算ツールを利用。
- ◆ 計算ツールに「部門」、「基準年・目標年」、「事業活動・排出量に関するデータ」を入力すれば、**目標とする原単位の改善率、削減量、削減率、削減経路が自動で計算される！**

※最新のSBTツール（Ver.1.2）では、化学・石油化学部門のScope1、2計算には利用できない。

※自動車製造業のScope3算定はSDA計算ツールの「Transport Tool」を利用する必要がある。

SDAが設定されている部門

- 以下のセクターに対してSDAが用意されている

| 部門 | 中部門 | 活動量 |
|-----------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 電力 | | 電力量(MWh) |
| 製造業 | 鉄鋼 | 粗鋼生産(トン) |
| | セメント | セメント生産(トン) |
| | アルミ | アルミ生産(トン) |
| | 紙・パルプ | 紙・板紙生産(トン) |
| 輸送サービス | 旅客(航空, バス, 乗用車, 鉄道) | 収益・人・キロ(revenue passenger kilometer) |
| | その他輸送 | 付加価値(ドル) |
| サービス・商業ビル | 貿易, 小売, 金融, 不動産, 公共部門, 病院等, 教育, 他商業 | 床面積(m ²) |

※熱供給、産業用エネルギー利用、家庭用建築物については扱っていない。

セクター別ガイダンスの準備状況

- その他以下のセクターに対して、セクター別ガイダンスが準備されている（準備中のものを含む）

| 部門 | 状況 |
|---------------|--|
| アルミニウム | SBT事務局よりアルミニウムセクターにおける取組の障壁に関する報告書が公開中 |
| 農業・林業・その他土地利用 | 2021年第2四半期に食料製造・農業・森林セクター向けの方法論とガイダンスが発表予定 |
| 化学 | SBT事務局より化学セクターにおける取組の障壁に関する報告書が公開中 |
| 空運 | 2021年第2四半期に空運セクター向け方法論が発表予定 |
| 海運 | 2020年第4四半期に海運セクター向け方法論が発表予定 |
| 輸送：陸運 | SBT事務局より陸運セクター向けSBT計算ツールと方法論が公開中 |
| 石油・ガス製造 | 2021年早期に石油・ガス製造セクター向け方法論が発表予定 |
| 電力 | SBT事務局より電力セクター向けのSBT計算ツールとSBTガイダンスが公開中 |
| 金融機関 | SBT事務局より金融セクター向けSBTガイダンスが公開中 |
| アパレル・履物 | SBT事務局よりアパレル・履物セクター向けSBTガイダンスが公開中 |
| 通信 | SBT事務局より情報・通信セクター向けSBTガイダンスが公開中 |

- SBT事務局ウェブサイトには、SBT設定マニュアルなど各種資料が掲載されている

| 資料名 | 概要 | URL |
|---|---|---|
| Foundations of Science-based Target Setting | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>SBTの基礎</u> 削減経路の算出方法について説明されたもの | https://sciencebasedtargets.org/wp-content/uploads/2019/04/foundations-of-SBT-setting.pdf |
| Science-based Target Setting Manual | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>SBT設定マニュアル</u> SBTを設定する際の段階的なガイダンス及び推奨事項についてまとめられたもの | https://sciencebasedtargets.org/wp-content/uploads/2017/04/SBTi-manual.pdf |
| SBTi Criteria and Recommendations | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>SBTi認定基準および推奨事項</u> SBT認定のために満たすべき目標の基準、推奨事項について、まとめられたもの | https://sciencebasedtargets.org/resources/files/SBTi-criteria.pdf |
| Target Validation Protocol | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>目標妥当性確認規定</u> 妥当性確認プロセスの方法と評価基準を説明したもの | https://sciencebasedtargets.org/resources/files/target-validation-protocol.pdf |
| Science-Based Target Setting Tool | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>SBT削減目標算定ツール</u> SBT事務局による、SBTとして認定される水準の目標を算出するツール | https://sciencebasedtargets.org/resources/files/SBT-Tool-v1.2.1.xlsx |
| SBTi Target Submission Form and Guidance | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>SBT目標の申請フォーム（およびそのガイダンス）</u> SBT事務局に目標を申請する際に記入、提出するフォーム | https://sciencebasedtargets.org/resources/files/target_submission_form_july_2021-Final.docx |

- 環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」
 - https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/
- Science Based Targetsホームページ
 - <http://sciencebasedtargets.org/>

